

2025年 2月10日

各 位

会社名 株式会社タカミヤ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮 一雅
 (コード番号2445 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 経営戦略本部長 安田 秀樹
 (TEL. 06-6375-3918)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期業績予想の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,500	3,600	3,220	2,000	42.93
今回発表予想 (B)	44,500	2,200	1,950	1,350	29.23
増減額 (B - A)	△5,000	△1,400	△1,270	△650	
増減率 (%)	△10.1%	△38.9%	△39.4%	△32.5%	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	44,127	3,404	3,580	1,887	40.53

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきまして、売上高は、北海道新幹線延伸工事をはじめ、大型プロジェクトの工事着工遅れにより、出荷量が想定より低調となりレンタル売上が減少、また、プロジェクト着工前に購入予定であった販売案件やOPE-MANEの検討顧客への販売も同様に納入時期の遅れが続いており、翌期にすべて集中することが見込まれるため、前回予想を下回る見込みとなりました。

費用につきましては、人材確保のため従業員の待遇面の改善、機材baseの労務費の改善など人的資本への先行投資を進め、同時にDX投資も進め、一部で効果が現れているものの、当期中で生産性を大幅に改善するには至りませんでした。一方、部署を跨いでの人材活用を実現する当社独自施策であるコイン制度等が浸透し、人材不足に対して効果が出てきております。その他、プラットフォーム事業拡大へ向けて対顧客への付加価値向上、機械化、自動化など生産効率の向上を進めるための投資を進め、円安の進行、子会社の役員退職慰労引当金の見直しによる一時的な費用増加がございましたが、コスト削減にも努め、計画内に抑えることができております。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上